

地震に伴う農業用ボイラーやタンクからの油流出防止対策について

令和8年7月29日
熊本県農業技術課
農業革新支援センター

地震に伴う農業用ボイラーや油タンクからの油流出防止のため、点検を行うとともに、万一、油流出が確認された場合は以下のとおり対策を実施してください。

(1) 農業用ボイラーや油タンクの点検

- ①タンクや配管の点検を行い、油漏れがないか確認してください。
- ②今後の地震に備え、タンク等がしっかり固定されているか、確認してください。

(2) 油が流出した時の対応

- ①油類が、排水路、河川、ほ場等に流出した場合、周辺の地下水や生活環境への影響を未然に防止するために、流出した油を早急に除去する必要があります。
- ②油の流出を発見した場合は、発生流出原因を確認して元栓の閉め忘れなど、すぐに流出を止められる場合は直ちに対応してください。
- ③また、流出を発見したら、直ちに消防署、市町村役場へ連絡してください。
関係者が迅速に対応することにより被害規模を小さくすることができます。
油が流出した場合の事後対策は、油の種類と流出量、ほ場の状態等により対応が異なりますので、関係機関の指示に従ってください。

④油類が排水路、河川に流出した場合

基本的にはオイルフェンス等で油分の拡散を防止したうえで、油吸着マット等で油分を吸着・除去します。

大量の場合には、産業廃棄物処理業者に回収と処理を依頼することもできます。

⑤油類がほ場等に流出した場合

油等で汚染された土壌を除去するのがもっとも確実な方法です。汚染の拡散を最小限にするために、ただちに油等で汚染された土壌をビニールシート等の上に掘り上げ、さらに上部を覆うなど、可能な限り飛散・流出防止に努めて下さい。対応が遅れると時間の経過とともに汚染が拡散し、処理に係る時間と費用が増大します。

⑥流出事故に係る経費

油流出事故が起きると、消防、市町村、県、保険所等の関係者が対応し、オイルマットや油処理剤、オイルフェンス等で処理を行います。その費用は原因者の責任となりますのでご注意ください。